

研究室名	<b>生殖発生生物学研究室 学会発表</b>
------	------------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本動物学会
演題名	ショウジョウバエ生殖系列におけるX染色体の数に依存した自律的な性決定機構
発表者	<p>○<u>太田龍馬</u><sup>1</sup>、<u>林誠</u><sup>2</sup>、<u>森田俊平</u><sup>2,3</sup>、<u>小林悟</u><sup>2</sup></p> <p>1: 帝京大学・理工学部・バイオサイエンス学科  2: 筑波大学・生存ダイナミクス研究センター  3: 現ブラウン大学・MCB  (○は発表者、アンダーラインは本学教員)</p>
内容	<p>生殖系列(配偶子を生み出す細胞の系譜)の性差を生み出す機構(性決定機構)の一つとして、生殖系列自身が性を決める自律的な機構が知られていますが、その機構はほとんど明らかになっていません。本発表では、1)ショウジョウバエのオス(XY)始原生殖細胞(生殖系列の基になる細胞)において、X染色体上の遺伝子の発現をメス(XX)と等しくする遺伝子量補償がないこと、2) 遺伝子量補償を付与したオス(XY)PGCがメス化するという予備的な結果、について報告しました。これらの結果は、XY型PGCにおける遺伝子量補償の欠如により生み出される、XX型とXY型のPGCにおけるX染色体上の遺伝子の発現性差により、生殖系列の性が自律的に決まることを示唆しています。</p> <p>本研究は、科学研究費補助金(18K14739および20H03287と、24247011, 25114002および18H05552の一部)の支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究により行われました。</p>